

クルマシダ	<i>Asplenium wrightii</i> D.C.Eaton ex Hook.	準絶滅危惧
		チャセンシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村瀬正成)
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は短く、直立し、葉を叢生する。葉身は単羽状複生、広披針形、最下羽片がもっとも長い。羽片はやや鎌状。	
生態的特徴	山林中の湿った地上や岩上に生育する。	 
分布状況	伊豆半島以西の本州から沖縄に分布する。岐阜県では県南西部と県南中部に分布するが生育地は少ない	
減少要因	生育地である急峻な岩場の崩落、山林開発、治山工事などによる生育地の消失。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成